



地域活性の協働プログラム

2026年7月16日

ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社

洋上風力事業部 地域連携・共創グループ 総括チーム 近藤有希

ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社

会社概要

会社名	ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 ENEOS Renewable Energy Corporation
所在地	東京都港区麻布台一丁目3-1 麻布台ヒルズ森JPタワー 45階
HP	https://www.eneos-re.com/
設立	2012年8月20日
資本金	287億円
主要株主	ENEOSホールディングス株式会社、三井住友信託銀行株式会社
従業員数	347名（単体）、599名（連結） [2026年3月31日現在]
代表取締役	社長 小野田 泰
事業内容	発電プラント（風力、太陽光、バイオマスその他自然エネルギー発電）に関する事前調査、計画、設計、関連資材調達及び販売、土木工事、電気工事、建設、運転、保守点検事業並びに売電事業
子会社	ENEOSリニューアブル・エナジー・マネジメント株式会社 （発電プラントの運転及び保守点検事業） ENEOSリニューアブル・エナジー・ソリューションズ株式会社 （再エネ電力の小売及びトレーディング事業） 株式会社エコグリーンホールディングス（木質バイオマス再資源化事業）



私たちは再生可能エネルギーの開発・運営・供給を通じ、
幸福で安心した生活を営める持続可能な社会創りをリードしていきます

温室効果ガスの排出がもたらす気候変動への対策、および、DX/GX進展や経済成長に伴い必要となる、
持続的で経済的なエネルギー源として、再生可能エネルギーの普及拡大が望まれています。

私たちは、再生可能エネルギーによる安定的かつ経済的なエネルギー供給、ならびに地域をはじめ、
全てのステークホルダーとの共栄を実現します。

同時に私たちは、業界のリーディングカンパニーとして、再生可能エネルギーおよび当社が絶対的な信頼
を得ることに挑戦します。

開発・運転実績

発電所数 136
設備容量 1,456MW
(運転中+建設中)

- 太陽光発電所
- 風力発電所
- バイオマス発電所
- 建設中の発電所



運転中

	発電所数	設備容量 (MW)
太陽光発電所	105	1,038
風力発電所	14	237
バイオマス発電所	2	24
合計	121	1,299

建設中

	発電所数	設備容量 (MW)
太陽光発電所	14	135
風力発電所	1	21
合計	15	156

2026年3月末現在

地域連携・共創

ENEOSリニューアブル・エナジーは、再生可能エネルギーによる発電事業の検討段階から地域の皆様との対話を重ね、ご理解とご協力をもとに、事業活動に取り組んでいます。

私たちは、地域との信頼関係を大切に、運転開始後も事業を通じて地域社会と共存・共栄を目指し、地域とともに希望ある未来を共創します。

発電所地域の活性化に資する取り組みや、再生可能エネルギーについて地域の皆様と一緒に学び・考える機会づくりなど、再生可能エネルギーの普及につながるさまざまな活動を行うことで、それぞれの地域経済・社会に貢献できるよう努めています。

地域共生イベントの開催



平戸風車ライトアップイベント

平戸市のライトアップイベントの一つとして試験実施。来年は地域の方と共に企画しワークショップ等を出店する等、クリスマスイベントとして実施予定。

カーボンニュートラル講座 山形県酒田市

脱炭素社会実現に向けたカーボンニュートラルとは何かという入門編を約20名に向けて講演



地域の祭り等への参加

諸塚村民文化祭_ 宮城県諸塚村



ひらどエコフェスタ_長崎 県平戸市



一戸産業まつり_岩手県一戸町



オブチキ感謝祭_岩手県九戸村

連携プログラムについて（2026年4月開催）

お手伝い

千葉県 いすみ市

【千葉県 いすみ市】梨の花の“受粉作業”をお手伝いしながら1泊2日のリトリート！



- ・収穫した梨 約2kg
- ・宿泊無料提供
- ・夕食/朝食を無料提供

・ **弊社の狙い**：単なる農業の労働力確保に留まらず、都市部の生活者が地域課題を自分事として捉え、地域のファン＝関係人口になる仕組みを追求。

・ **SAGOJOの募集スキーム**：地域に関わりたい熱量を持つ旅人マッチングサイト「SAGOJO」を活用。旅という付加価値を乗せることで、志ある人材を募集。

シゴトについて



連携プログラムについて（2026年4月開催）

地元の方々とお話ししながら、植物や土に触れあおう

1. 長期滞在

地域の取り組み、地域で活動する方と触れ合う時間を最大限確保する。【プログラムメニューの多様化】

2. 会話する場を作る

地域の方と直接しっかり話をして、その方自身や地域での活動に興味をもってもらう。【魅力的な地域人材】

3. 農福連携／ユニバーサル農園

より広く知ってほしい。

当社としても取り組みたいテーマ

→ この場を活用して社員も一緒に体験。

一般の方からのヒアリング

【今後の連携施策への参考・展開】

梨の受粉作業のお手伝いのあとは、“ユニバーサル農園”という誰でも参加できる地域に開いた農場である『はじめての一步農場』にて、代表の内野美佐さんと一緒に農場のお手伝いをします。

連携を行っての感想

【1. プログラムメニューの多様化】 【2. 魅力的な地域人材】

- ・ 地域関係者との交流 → 地域活動、取り組みを知るきっかけとなり、自身がリフレッシュ・刺激
- ・ ユニバーサル農園での体験 → 自身の生活・キャリアの見つめなおし、他参加者への理解の醸成
- ・ 参加者／企画者・受入側のコミュニケーション → 関係継続。地域への関心も維持。



【3. 今後の連携施策への参考・展開】

- ・ 社内研修、イベント登壇

連携を行って社内にどのような変化があったか

2026年6月 社内研修開催：テーマ「企業と地域が共創するには？」

～共創事例を実現するために必要なプロセス、共通のマイルストーンは何か～

1) 講師：

Office musubime 河合将生様
社会福祉法人土穂会 内野美佐様

2) 参加者：

ENEOSリニューアブル・エナジー
地域関連担当者 10名



3) 参加者のコメント

- ・双方で情報発信や対話を積み重ねた関係構築があって初めて、「何かを動かす」行動が起こる。
- ・地域との信頼関係を築くためには、地域の歴史や文化を学び、共通言語や共通体験を積み重ねること、固定観念を持たず様々な立場の方の話を聞くことの重要性を再認識。
- ・「地域を巻き込み、共に価値を創るパートナーシップ」が重要。

ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社



今後に向けた展望など



【添付資料】

ご清聴ありがとうございました。

以下、ご参考まで資料をご用意致しました。

皆様、お時間の許す際に御覧いただけますと幸いです。

会社沿革

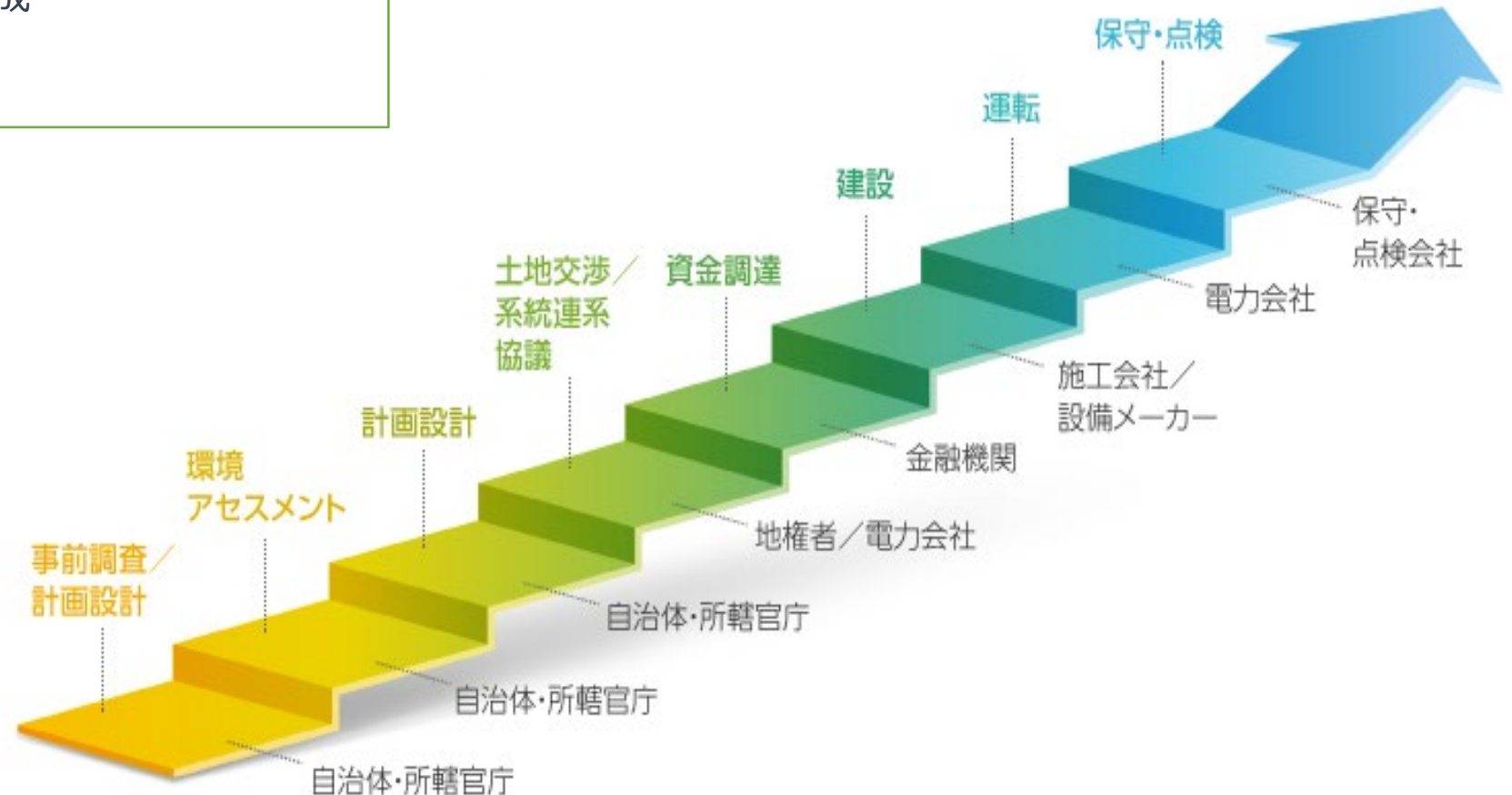
2012年 8月	ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社設立
2013年4月	発電所の保守点検を担う子会社 JREオペレーションズ株式会社（現 ENEOSリニューアブル・エナジー・マネジメント株式会社）を設立
2013年5月	福岡事務所開設
2014年1月	第一号発電所「JRE行方太陽光発電所」運転開始
2014年4月	山形県酒田市で風力発電事業を譲受 「JRE酒田風力発電所」運転開始
2015年1月	初の大型太陽光「水戸ニュータウン・メガソーラーパーク」運転開始
2015年9月	株式会社エコグリーン（現 エコグリーンホールディングス）を連結子会社化
2016年9月	初の自社開発による風力発電所「中九州大仁田山風力発電所」運転開始
2019年5月	初のバイオマス発電所「JRE神栖バイオマス発電所」運転開始
2020年9月	再エネ電力の小売・トレーディング事業を担う子会社 JREトレーディング株式会社（現 ENEOSリニューアブル・エナジー・ソリューションズ株式会社）設立
2022年1月	ENEOS株式会社の子会社となる
2023年4月	ENEOS株式会社より再エネ事業を統合
2024年4月	ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社に商号変更
2026年4月	ENEOS Power株式会社と実質的な一体運営体制に移行



事業の特徴：開発企画から運転までの一貫事業体制

一貫体制の特長

- 地域コミュニティとの長期的な関係構築が可能
- ノウハウ・知見の蓄積と人材育成
- 長期にわたる安定収益の確保



多様な電源のご紹介

太陽光発電所



水戸 (44.4MW)



白河ソーラーパーク (74MW)

陸上風力発電所



折爪岳南第一 (46.8MW)



鶴岡八森山 (17.0MW)

バイオマス発電所



神栖バイオマス(24.4MW)

ハイブリッド (太陽光+風力)



響灘 (9.6MW※太陽光と風力の合計)

地域共創施策例

学習ノート配布による地域間交流

事業地域に学習ノートを配布。ノート内に「能登地震で被災した小学生に応援メッセージを送ろう！」と掲載したところ、他事業地域より志賀町の小学生あてに2024年に1000通の手紙がとどきました。
(2025年以降も継続)

おうちのひとといっしょによんでね

風力発電があるのはどんなところ？

地名は **石川県 羽咋郡 志賀町**

志賀町は能登半島にあるよ

半島とは、陸地が海に長く突き出したところのことです。能登半島は日本海に突き出していて、日本海側では一番大きな半島です。そのほぼ真中に志賀町があります。

能登といえば キリコ祭り

キリコとは巨大な灯籠（照明器具）です。そのキリコをかついでまちを練り歩くのが江戸時代から続くキリコ祭り。志賀町より北の能登半島の各地で練り上げられます。

志賀町のキリコ祭り

志賀町の「富来八朗祭礼」（写真左）では約30基のキリコが富来八幡神社の境内に駆け上がって、美しさ、勇ましさ、豪快さを競い合います。また「西海祭り」（写真右）は大漁と航海の安全を願います。昔から女性が活躍、浴衣に腰巻、白い前掛け姿でキリコを担ぎます。



能登半島では今年1月1日に地震がありました

この地震は全国のほとんどの場所で揺れを感じるという、とても大きなものでした。一番揺れたのは、能登半島の志賀町と輪島市です。家が倒れたり、道路が壊れたり、水や電気が止まったりしました。大変でしたが、今は普通の生活が戻ってきています。

志賀町の子どもたちは元気！

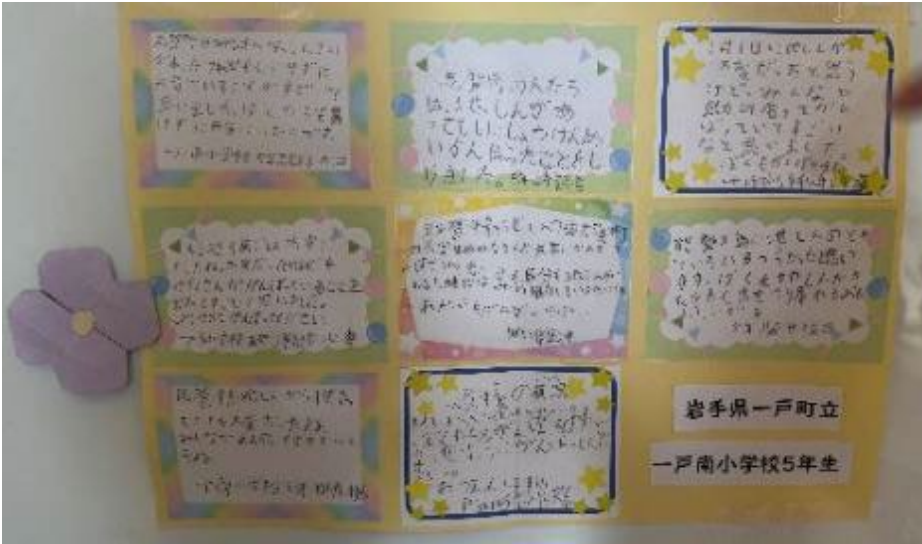
震災後は余震が続き、子どもたちは不安な毎日を送っていました。しかし、1月下旬に学校が再開し、友達と会えたときには笑顔になりました。また、全国から文房具などの温かい支援をたくさんいただき、少しずつですが、元気を取り戻しています。

5月には運動会が開催され、全力で競技に取り組みました。グラウンドには子どもたちの元気な声や、家族からの大きな声援がひびき渡っていました。子どもたちは今日も元気に学校に登校し、勉強に取り組んでいます。



志賀町の小学生に応援メッセージを送ろう

メッセージの様式は自由です。メッセージは志賀町学校教育課を通して、志賀町の小学校に届きます。
応援メッセージの送り先 〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1 志賀町学校教育課



そのほか、観光・交通・教育など幅広い分野の課題解決に向け、様々な企業様との連携に取り組んでおります。

地域共創施策の例

お申込み
受付中！

ラーメンを通じた地方創生プロジェクト

一風堂運営会社の力の源カンパニー様と地域食材をふんだんに使用したオリジナルラーメンの開発及び地域事業者への支援を行い、地域活性化につなげる取組を行っています。



- 同社が実施する地方創生プロジェクトの取組の一環であるオリジナルラーメン等の開発、「一風堂」店舗におけるイベントの運営などを委託し、ラーメンを通して地域課題を解決することを目的

- オリジナルラーメン開発、一風堂でお披露目イベント、地元の催事や店舗で提供開始（右図ご参照）

7月25日（土）／26日（日）
お披露目イベント開催！！

- 袋麺開発や一風堂ラーメン提供イベント、ラーメン店開業支援など継続的な支援を予定（左図は一例）



7月25日【一風堂コラボ】秋田県能代の食材を使用した特別コースを味わう2日限定イベント！共同開発「極神鶏らめん」お披露目会 in浜松町
(土) 12:00 (2日間) | 東京港区 | By 一風堂

イベント詳細 - Visiting Japan | 食べログ | カルメ | 日本酒 | 料理家 | 飲食店

ENEOSサンフラワーズによる バスケットボールクリニック



- ・現役・OG選手がコーチ
- ・キャリアBase様とご相談中

地域共創施策例

地域産品の販路拡大・生産者支援

(株)三越伊勢丹様と共同で当社事業地域における地域産品の商品開発、販路拡大支援に取り組んでいます。



- 2024年12月、三越伊勢丹と「地域産品を活用した地域活性化事業に関する協定」を締結
- 2025年5月、再エネ事業者として初、三越伊勢丹と共同で地域産品の商品開発に関するプレスリリースを発信



- 三越伊勢丹が運営するカジュアルギフトECサイト「MOO:D MARK」への地域産品掲載
- 掲載商品に関する取材に基づいた広告用の記事作成
- パッケージデザイン刷新やセット商品化など高付加価値商品の開発



- 現在、洋上風力で事業者選定された秋田県を主として取組を行っている
- 左図のブランドしいたけを栽培している農家やワイナリー、漆器屋など幅広い品目の事業者と共同して商品開発を行い、ECへ掲載
- 秋田のみならず、今後は様々な地域での展開を目指す

地域の人材不足支援及び関係人口の創出

株式会社SAGOJO様が運営しているマッチングプラットフォームを活用した、当社事業地域への人材支援及び関係人口創出の支援を行っています。



- 各イベント（清掃活動、祭り、復興支援、一次産業支援等）の支援に係る社内人員不足の解消
- 地元の文化・人々と触れ合う機会の創設による、将来的な関係人口の創出
- 旅人による地域の魅力発信



- 千葉県いすみ市の大原はだか祭りへ派遣実績
- 他にも様々な地域のイベントや祭りに旅人人材を派遣



- 人材支援のみならず、新しい取組として、「EREx地域産品」を持ち寄った「旅人Bar」の開催を予定
- 地域場を活用した販わいづくりや参加者に向けた地域産品のPR、販売代行などを目的



ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社

《本資料取り扱い上のご注意》

本資料はENEOS リニューアブル・エナジー株式会社（「以下、弊社」）が作成したものです。

- ・ 本資料は、作成時点における弊社の見解、計画等についてご説明し、ご理解いただくために作成されたものであり、今後変更される可能性がございます。
- ・ 本資料の作成にあたっては、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもその内容の正確性および完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料の著作権は弊社に帰属しておりますので、その方法・目的を問わず弊社に無断で複製、配布等されないよう、お願い申し上げます。